

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0874305006		
法人名	有限会社 田園福祉企画		
事業所名	グループホーム はなの郷	ユニット名	はなの郷
所在地	〒306-0303 茨城県猿島郡五霞町江川4024-2		
自己評価作成日	平成22年8月31日	評価結果 市町村受理日	平成23年3月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年10月28日	評価確定日	平成23年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>隣接する2000坪の農園でブルーベリーや自然芋、野菜、花などを作っている。 利用者に栽培や収穫の喜びを感じていただくとともに、近隣の方々への野菜や作物の配布などを通じて積極的な地域交流に取り組んでいる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は広大な敷地にあり、大きな窓から田園風景が広がり、ゆったりとして家庭的である。 敷地内の畑で収穫した野菜が食材に活用されている。 職員は利用者が温かい雰囲気の中で生活できるよう、関係づくりに努めている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホールに理念を掲げその実践に取り組んでいる。 また、毎朝のミーティングにおいても代表の挨拶のなかで常に言及している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を代表者や管理者、全職員で作成しホールに掲示するとともに、毎朝のミーティングで意識付けをして共有を図り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接のはなの郷農園にて収穫した新鮮な野菜を近隣に配布したり、収穫に参加していただいている。また、入所者が地域での買い物や食事に出かけ社会参加する機会を設けている。	町内会に加入し夏祭りに参加しているほか、踊りなどのボランティアを受け入れるとともに、事業所の畑で収穫した野菜を近所に配るなど、利用者は地域の人々と交流している。 利用者が手縫いした雑巾や広告紙で折ったゴミ箱を、教育委員会を通じて小学校や中学校に寄付している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方が在宅している地域家庭にたいして代表や職員が積極的に話しかけを行っている。今後、介護での悩み事無料相談を実施していく予定がある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では貴重な意見を参加者の方々からいただいた。可能な限り要望に応じていきたい。開催の頻度については漸次増やしていく。	運営推進会議は家族等や地域包括支援センター職員、民生委員、有識者、事業所の代表者、管理者が参加し、事業所の状況報告や委員と情報交換などを行っているが、開催は1年に1回となっている。	運営推進会議が2ヶ月に1回開催できるよう、行事に合わせて開催したり、年間行事計画に組み入れるなど、工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域密着型施設でもあり日頃から町の担当者とは連絡を取り合っている。不明な点、法解釈などについて等、積極的に相談している。	代表者は町担当者に事業所の状況を報告したり情報を提供するなど、頻繁に連絡を取っている。 町担当者が参加する介護支援専門員の研修会に参加し、情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロを目標としている。	管理者や職員は身体拘束をしないケアを目標とし、マニュアルを作成するとともにミーティングで確認しあっているが、禁止の対象となる行為などを正しく理解したり認識を共有するまでには至っていない。	管理者は全職員に身体拘束に関する研修会参加の機会を設け、認識の共有を図るよう努めることが望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は絶対にあってはいけない事、との認識で防止に努めている。職員間で抑止力が働くよう、なにが虐待につながるか等ミーティングの際、忌憚のない意見をだしあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入所後実際に成年後見制度を利用された方の事例を通して制度に関する多くのことを学んだ。 現在も適切な利用が継続している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際、専門用語はできるだけわかり易く言い換えて、納得できる説明を心がけている。また、条文はすべて読みあげ途中であってもわからない点は遠慮なく質問していただけるよう配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時、気づいたことはいつでも誰にでも話せるように声をかけている。利用者本人にも同様な声かけをおこなっている。	職員は家族等の面会時に意見や要望を聴いているが、意見箱を設置したり、重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するまでには至っていない。 管理者は利用者や家族等から出た意見等を運営に反映させている。	意見箱を設置したり重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記することが望まれる。 アンケートを実施するなど、利用者や家族等の意見や要望を引き出す工夫を期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングは毎日行っており、各職員からの意見も出易い状況にある。よい意見、実施可能な意見は当然尊重する。	代表者や管理者は朝のミーティングや随時、職員の話聞くように努めているほか、職員が意見等を出し易いよう新年会や暑気払い、忘年会などの機会も活用し、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者はほぼ毎日来所し、ホームの状況を確認しており、職員の勤務状態についてもこれを的確に把握している。給与、労働時間、仕事に対する意見などには十分な時間をかけて対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	具体的には各種の福祉資格取得を奨励し、金銭面、勤務の調整などの援助をおこなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者は開業当時から施設見学などを通じて得たネットワークを通して同業者との交流は頻繁に行っている。運営のノウハウ、職場環境作りなど参考になる点が多い。今後は一般職員レベルでの交流も望んでいきたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まず本人の話を傾聴すること、それに、言葉以外の表現に気づくことも重視する。安心して暮らせるよう。受容の心と共感的理解を示し、信頼関係の構築につとめる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護保険創設の主旨が要介護者本人のみならず家族のためでもあることを理解し、要望には可能な限りお答えしたい。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者と家族に適したサービスを最優先にして対応している。聞き取りや話し合いの段階で判断する。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当施設の理念にも示すように年長者を敬う心をもって介護にあたりたい。要介護者と介護をするものが同等の立場であることを理想とする。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等への参加を促し、積極的な接触を求めていく（おしつけにならないように）。また本人の現況を把握していただく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙のやり取りや電話連絡などの支援を行っている。	利用者が馴染みの理・美容院に行けるよう、家族等の協力を得ながら支援している。 利用者の希望を受け、米や事業所の畑で収穫した作物を家族等に送れるよう支援するなど、関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲のよい入所者同士が自由に話し合える環境を提供できるよう心がけている。例えば居室に椅子を二つとテーブルをセットしてお茶を飲んでいただいている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	実例として、退所者の元をスタッフや代表が訪れその後の経過をフォローしたことがある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者本位のケアをこころがけている。誰もが個性をもっていて、その人らしく暮らしたい、という思いに答えたい。	職員は利用者との日常の会話の中から、意見や要望を聴くよう努めるとともに、意思疎通が困難な場合は、表情やしぐさから利用者の思いを把握するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦を知ることは介護をするうえで大切なことであり気づいた点不明な点は家族に確認している。	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方を記録にとどめ、毎回出勤時に、どのような現況であるか把握してから職務に着くよう配慮している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意見を尊重した介護計画の作成を心がけている。また、必要に応じて各職員、医師とも話し合いの場を設けて、現実的な目標を設定している。			介護計画は利用者や家族等の意見や要望を取り入れ、担当者会議を開催して作成しているほか、必要な場合は医師を交えて話し合い作成するとともに、6ヶ月に1回見直している。 利用者や家族等の要望や変化に応じて、介護計画を臨機応変に見直している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は毎日午前、午後の様子を必ず、個人ごとに記入している。夜間の状況についても同様に対応している。介護計画作成時や見直しの際おおいに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	実例として、認知症の方の緊急避難的な受け入れを実施した。今後もニーズがあれば柔軟な姿勢で対応したい。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の設立とともに民生員の方との交流も深まった、今後も地域資源の活用については重要課題として取り組んでいきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との関係は極めて良好で、受診はもちろんのこと、複数の利用者が現在毎週1回の頻度で往診を受けている	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援しているほか、希望に応じて、協力医療機関の医師による週1回の訪問診療を受診することができる。 緊急時にはかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職はいないが、往診時にかかりつけの医院から看護師の派遣等がある。急変時にも来所して対応していただいている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医を通じて関係づくりを行っている。また入所者の入院時はスタッフが病院にでむき本人との面会や情報交換等を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	要望として終末期までも含めた介護を望む家族が増えている。今後は終のすみかとしての役割にもなえるグループホームを目指したい。	事業所では看取りの経験があり、重度化や終末期に向けた対応マニュアルを作成している。 重度化した場合や終末期のあり方について利用者や家族等、医療関係者で話し合い、意向を確認するとともに同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網や急変時の医師への連絡方法等を電話の付近に掲示した。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の特徴として、利根川、中川、江戸川が付近を流れており、水害の発生を想定した非難訓練を実施した。	マニュアルを作成し緊急連絡網を掲示するとともに避難訓練を行っているが、消防署立会いの避難訓練や夜間を想定した避難訓練を実施したり、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 災害時に備え備蓄品を用意している。	消防署立会いの避難訓練や夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう、運営推進会議で働きかけたり、協力体制について話し合うことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個性を尊重し、その人らしく暮らせることに配慮したケアを心がけている。時々本人にモニタリングをおこない、対応についてスタッフ間で検討している。	職員は利用者一人ひとりを尊重し、言葉遣いや対応に留意している。 利用者の個人情報に関する書類は、所定の場所に保管し管理している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ本人の意思にそえるようなケアを心がけている。また、自由に意思表示できない方については気づきを重視したケアを行っている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	画一的なケアを排除し、個性を重視した介護を目標としている。日々の暮らしも入所者のやり方、ペースを最優先に考えていきたい。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	隔月で理美容師が来所。希望者がサービスを受けられるよう配慮している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、食器拭き、片付け等、できる方には手伝っていただいている。また、おしつけにならないようにモニタリングも行っている。	利用者はできる範囲で、食材の買い出しや食事の準備、後片付けなどを職員と一緒に楽しみながら行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量とも正しく把握できるよう毎日記録している。また、客観的に栄養状態を推し量るために体重測定も定期的に行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ブラッシング指導と介助の他、入れ歯の方には洗浄剤を使用したケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターン、習慣については排泄チェック表に毎日記録し、傾向、特徴の把握につとめている。また、安易なおむつ使用は避け、羞恥心に配慮したケアをおこなっている。	職員は利用者一人ひとりの排泄を記録してパターンを把握するとともに、タイミングを見計って声かけ誘導し、排泄の自立に向けた支援を行い尿失禁の改善につながっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、職員の作る自家製カスピ海ヨーグルトを食べてもらっている、隣接する農場で取れた新鮮野菜も便秘予防に利用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は一応きめているが、本人の希望を最優先するので変更は日常茶飯事。今後は現在よりもっと遅くの時間帯にも対応できるよう努力したい。	入浴日や時間帯など、利用者一人ひとりの希望に合わせて支援している。 しょうぶ湯やゆず湯などを取り入れ、季節を感じ楽しみながら入浴できるよう工夫をしている。 車椅子使用の利用者には、隣接する通所介護事業所の特殊浴槽で入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望により各自が自由な時間帯に休息してもらっている。午睡の時間は設けてあるがこれも自由意志が優先する。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所者が日々、使用、服用している薬の説明書についてはすべてファイルに綴じて閲覧し易いように配慮した。また、変更がある場合等は日報等で周知徹底をはかっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人に応じた楽しみ方の把握と支援のしかたについては、スタッフ会議で頻繁にでるテーマである。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や食事などの外出を不定期的ながら実施している。	家族等の協力を得て利用者一人ひとりの希望にそった外出支援をしている。 利用者は近くの神社を散歩したり、畑仕事を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所者全員、買い物の際に使用する小遣いを用意している。家族の理解を得て、不足すれば補充するシステムになっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎや、手紙の代筆、代読等の支援が多い。小包などを送る支援もおこなっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	設計の段階から、窓は可能なかぎり広くとってある。証明は間接照明、トイレはウォシュレット、食事時間帯にはBGMをながしている。何よりも、四季おりおりの花が玄関や居間に絶えたことがない。	窓が大きく、外の景色が楽しめるようになっている。 職員は共用空間に季節の花を飾ったり、利用者の作品を掲示し、居心地よく過ごせるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席の他、ソファを多重配列にして仲のよいもの同士が気がねなく話せるよう配慮した。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や備品などは入居時、家族に用意していただいている。本人の使い慣れたものが認知症の方の精神の安定に役立つことは説明している。	利用者は使い慣れた家具を持ち込んだり、家族等の写真やお気に入りの物を飾り、居心地よく暮らせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、わかることの把握をおこない、どういうケアが必要か、また、ときには必要でないケアは存在しないか、支援にかかわる全員で協議している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム はなの郷

作成日 平成23年3月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の昨年度開催実績がなかった	運営推進会議については概ね2カ月に一度の開催を目標にしたい。	会議の日程の調整 報告事項、協議事項等の事前準備	12ヶ月
2	35	避難訓練 消防訓練の実施回数が少なかった	避難訓練、消防訓練の定期的実施	・消防訓練を行い、消防署の協力、助言を求める。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。